

# 筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群

# コロナ後遺症の1割か

新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ人のなかで、筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群（ME／CFS）と診断される人が少なくありません。国立精神・神経医療研究センター病院（東京都小平市）にはコロナ後遺症の患者が次々と訪れています。（西口友紀恵）

## 国立精神・神経医療研究センター病院 山村氏に聞く

同センター神経研究所 的に通院しているとい

の山村隆特任研究部長 ます。

（神経免疫学）は、5年 ME／CFSは、睡眠前に「ME／CFS外 や休息で改善しない強い疲労感や脱力などさまざ

来一を開設。これまでに まな症状が長期にわたり

200人以上を診療し、

うち150人は今も定期



山村隆特任研究部長

「ME／CFSは、コ

ロナ後遺症との関係で世

## 治療法を組み合わせ回復も

界的に大きく注目されて

います」と山村さん。

「両者の症状はかなり重

なっています。後遺症の

人にME／CFSが10%

ほど含まれているという

のは世界の共通認識にな

っていると思います」

山村さんの外来にも後

遺症の患者が「自分はM

E／CFSではないか」

と次々と受診。今年に入

って首都圏の約50人の患

者を診断、治療していま

す。

客観的診断へ道

ME／CFSは一般的

な血液検査や画像検査で

免疫にも異常があり、双

バイオマーカー 診断や治療を決めるのに役

立つ血液や尿検査の指標のこと。最近

の研究で次々に新しい指標が発見さ

れ、この言葉で整理されるようになりました。

方にある程度の相関関係

があるところまで分かっ

た。神経と免疫の両方を

みることで患者の全貌が

みえてくる」と話しま

す。

今春には、診断に有用

な血液バイオマーカーを

発見し、8〜9割の精度

で診断が可能と判明した

と発表。「病状や病歴に

基づく診断ではなく、客

観的な検査に基づきME

／CFSを診療する時代

が近く来る」と話しま

す。

各国ではコロナ後遺症

の研究に力を注いでいま

す。アメリカでは今年政

府が支出した研究費は約

1300億円。日本は厚

生労働省によると約2億

円です。「働き盛りの人

を直撃するコロナ後遺症

は、さまざまな科学的事

実が積み重なってきて、

かなり治せる病気だと思

っている」と山村さん。

村さん。比較的少量のス

テロイドやEAT療法

（上咽頭擦過療法）、漢

方薬、点滴（脳の代謝を

高める薬、ヒタミンB・

C）などの組み合わせが

大事で「期待できる」と

いいます。

「コロナ後遺症について

半年以上異常な倦怠

（けんたい）感や痛みで

死を考えるほどの苦しみ

を経験してきた人が、他

の治療と合わせ1〜3カ

月の少量のステロイド治

療の開始で一気によくな

る例を経験している」

と、手ごたえを語りま

す。

### 国は研究強化を

治療について「この間

の蓄積で治療の効果が上

がり、よくなっている人

が多い。発症から10年以

上固定した状態にいる患

者さんを除けば、治療を

始めると一定の回復が見

られることが多い」と山

村さん。比較的少量のス

テロイドやEAT療法

（上咽頭擦過療法）、漢

方薬、点滴（脳の代謝を

高める薬、ヒタミンB・

C）などの組み合わせが

大事で「期待できる」と

いいます。

「コロナ後遺症について

半年以上異常な倦怠

（けんたい）感や痛みで

死を考えるほどの苦しみ

を経験してきた人が、他

の治療と合わせ1〜3カ

月の少量のステロイド治

療の開始で一気によくな

る例を経験している」

と、手ごたえを語りま

す。

各国ではコロナ後遺症

の研究に力を注いでいま

す。アメリカでは今年政

府が支出した研究費は約

1300億円。日本は厚

生労働省によると約2億

円です。「働き盛りの人

を直撃するコロナ後遺症

は、さまざまな科学的事

実が積み重なってきて、

かなり治せる病気だと思

っている」と山村さん。

村さん。比較的少量のス

テロイドやEAT療法

（上咽頭擦過療法）、漢

方薬、点滴（脳の代謝を

高める薬、ヒタミンB・

C）などの組み合わせが

大事で「期待できる」と

いいます。